

取扱いの趣旨

単なる「アレルギー性鼻炎」に対するインタール点眼液は、当該医薬品の効能・効果に照らして、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《平成29年9月25日》

14 単なるアレルギー性鼻炎に対するインタール点眼液の投与について

○ 取扱い

単なるアレルギー性鼻炎に対するインタール点眼液の投与は、原則として認めない。

○ 取扱いを作成した根拠等

インタール点眼液の適応は「春季カタル、アレルギー性結膜炎」である。アレルギー性鼻炎に対しては別に点鼻用のインタール点鼻液がある。

したがって、単なる「アレルギー性鼻炎」に対するインタール点眼液の投与は、原則認められないと判断した。

初回検証から早期確認を経た1年後検証の改善状況及び今後の対応

令和5年10月の少数事例の基準の整理により、フォローアップ対象都道府県はなし

1年後検証で13都道府県改善

1年後検証終了時点の改善都道府県数

46

■都道府県の改善状況

初回検証の未改善都道府県数	早期確認の未改善都道府県数	1年後検証の未改善都道府県数
14	6	1

■誤り件数の改善状況

要因別	初回検証の誤り件数/年	早期確認の誤り件数 /3か月（年換算）	改善率	1年後検証の誤り件数 /6か月（年換算）	改善率
職員	213	10（40）	81.2%	4（8）	96.2%
審査委員	15	5（20）	-33.3%	1（2）	86.7%
合計	228	15（60）	73.7%	5（10）	95.6%

■1年後検証で未改善の1都道府県に対する今後のフォローアップ対応

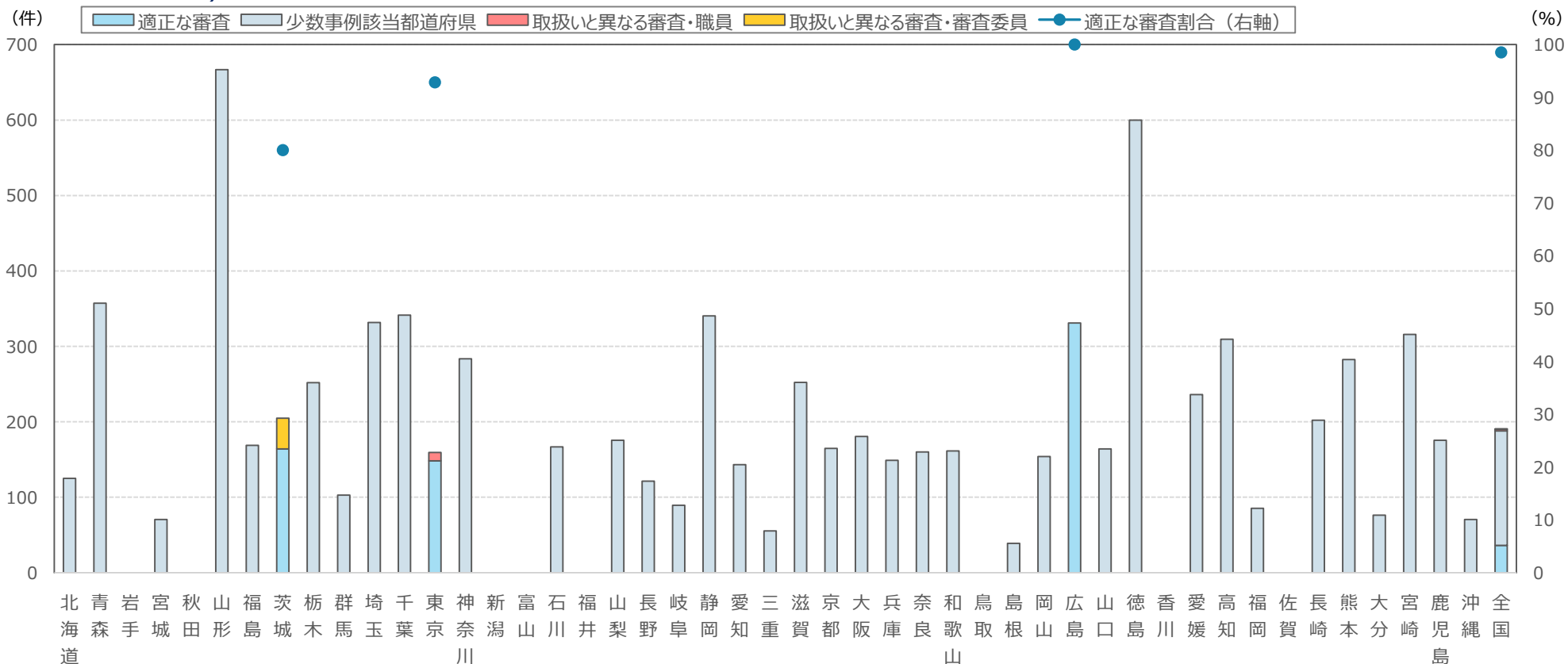
要因別	※未改善の都道府県（対象1万件当たり件数の多い順）	今後のフォローアップ対応
職員		○当該事例に係るCCの審査結果データを本部で取得。 取扱いと異なる審査結果のリストを作成し、地方組織へ還元。 ○地方組織は当該リストに基づき、当月審査において担当審査委員や審査調整役等へ確認。 ○未改善の1都道府県については1年以内に再度フォローアップ結果を公表する。
審査委員	茨城	

※未改善の都道府県は、取扱いと異なる審査が年間10件以上（今回の検証は6ヶ月間の数値のため、5件以上）又は、取扱いと異なる審査の割合が1割以上の都道府県

グラフの見方

2022年10月～2023年3月審査分

- 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）
インタール点眼液（一般名：クロモグリク酸ナトリウム点眼液）を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（アレルギー性鼻炎に対してインタール点眼液を算定）に該当するレセプト件数
- 折れ線グラフ
適正な審査割合：98.54%（少数事例該当都道府県を含む取扱いと異なる審査割合：1.46%）
- 少数事例該当都道府県は初回検証結果又は1年後検証の検証前データより、取扱いと異なる審査が年間10件未満（フォローアップ検証は6ヶ月間の数値のため、4件以下）かつ、取扱いと異なる審査の割合が1割未満となった都道府県（検証対象外都道府県）



【該当件数】アレルギー性鼻炎に対してインタール点眼液（一般名：クロモグリク酸ナトリウム点眼液）を算定しているレセプト件数

該当件数に対する検証結果

2022年10月～2023年3月審査分

検証の結果、該当件数343件のうち、取扱いと異なる審査が5件（1.46%）

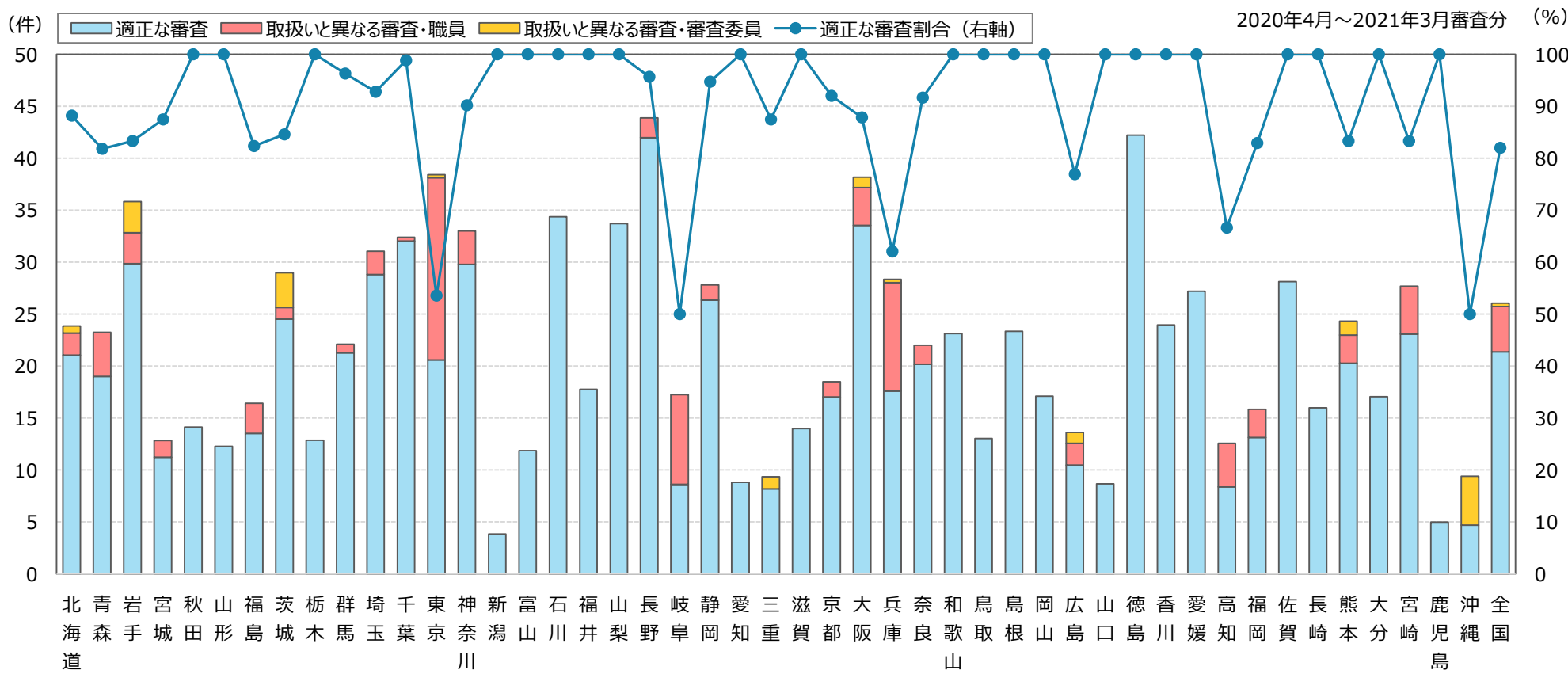
都道府県		検証結果											都道府県		検証結果												
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査							取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）					該当件数	取扱いに基づく適正な審査							取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）				
		計	適正 審査 合計	少数事例 該当都道 府県の 該当件数	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員			審査委員	計	適正 審査 合計	少数事例 該当都道 府県の 該当件数	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
						査定	返戻	査定 返戻 計												査定	返戻	査定 返戻 計					
01	北海道	8	0	8										25	滋賀	3	0	3									
02	青森	4	0	4										26	京都	7	0	7									
03	岩手	-	-	-										27	大阪	33	0	33									
04	宮城	2	0	2										28	兵庫	17	0	17									
05	秋田	-	-	-										29	奈良	2	0	2									
06	山形	2	0	2										30	和歌山	2	0	2									
07	福島	5	0	5										31	鳥取	-	-	-									
08	茨城	5	4	0	80.00%	4	0	4	0	1	20.00%	0	1	32	島根	1	0	1									
09	栃木	7	0	7										33	岡山	1	0	1									
10	群馬	3	0	3										34	広島	9	9	0	100.00%	8	0	8	1	0	0.00%	0	0
11	埼玉	36	0	36										35	山口	3	0	3									
12	千葉	28	0	28										36	徳島	3	0	3									
13	東京	56	52	0	92.86%	48	3	51	1	4	7.14%	4	0	37	香川	-	-	-									
14	神奈川	44	0	44										38	愛媛	3	0	3									
15	新潟	-	-	-										39	高知	3	0	3									
16	富山	-	-	-										40	福岡	8	0	8									
17	石川	2	0	2										41	佐賀	-	-	-									
18	福井	-	-	-										42	長崎	2	0	2									
19	山梨	1	0	1										43	熊本	8	0	8									
20	長野	2	0	2										44	大分	1	0	1									
21	岐阜	1	0	1										45	宮崎	3	0	3									
22	静岡	13	0	13										46	鹿児島	2	0	2									
23	愛知	11	0	11										47	沖縄	1	0	1									
24	三重	1	0	1										全国	343	65	273	98.54%	60	3	63	2	5	1.46%	4	1	

※都道府県の数値全てをグレーで網掛けした都道府県は1年後検証終了時点の改善都道府県

※少数事例該当都道府県の該当件数は初回検証の結果又は1年後検証の検証前データより、取扱いと異なる審査が年間10件未満（フォローアップ検証は6ヶ月間の数値のため、4件以下）かつ、取扱いと異なる審査の割合が1割未満となった都道府県の該当件数（検証対象の都道府県は0を記載）

グラフの見方

- 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）
インタール点眼液（一般名：クロモグリク酸ナトリウム点眼液）を算定しているレセプト1万件当たり、条件（アレルギー性鼻炎に対してインタール点眼液を算定）に該当するレセプト件数
- 2 折れ線グラフ
検証の結果、適正な審査をしている割合（全国 82.02%）



【該当件数】アレルギー性鼻炎に対してインタール点眼液（一般名：クロモグリク酸ナトリウム点眼液）を算定しているレセプト件数

該当件数に対する検証結果

2020年4月～2021年3月審査分

検証の結果、該当件数1,379件のうち、**1,131件（82.02%）**が適正な審査結果（検証前は76.43%）
CCの解除等による誤処理が**248件（17.98%）**

⇒概評：請求どおり（325件）を検証の結果、適正審査と確認されたレセプトは傷病名やコメントから、アレルギーに伴う結膜炎に対して、インター点眼液を必要とした事例であった。

支部	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （CC解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定	返戻	査定 返戻 計	詳記等から 適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
01 北海道	34	30	88.24%	26	4	30	0	4	11.76%	3	1
02 青森	11	9	81.82%	9	0	9	0	2	18.18%	2	0
03 岩手	12	10	83.33%	8	1	9	1	2	16.67%	1	1
04 宮城	16	14	87.50%	14	0	14	0	2	12.50%	2	0
05 秋田	3	3	100.00%	2	0	2	1	0	0.00%	0	0
06 山形	3	3	100.00%	1	0	1	2	0	0.00%	0	0
07 福島	17	14	82.35%	13	1	14	0	3	17.65%	3	0
08 茨城	26	22	84.62%	22	0	22	0	4	15.38%	1	3
09 栃木	12	12	100.00%	11	1	12	0	0	0.00%	0	0
10 群馬	27	26	96.30%	25	1	26	0	1	3.70%	1	0
11 埼玉	111	103	92.79%	73	28	101	2	8	7.21%	8	0
12 千葉	88	87	98.86%	63	9	72	15	1	1.14%	1	0
13 東京	265	142	53.58%	94	14	108	34	123	46.42%	121	2
14 神奈川	143	129	90.21%	121	7	128	1	14	9.79%	14	0
15 新潟	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
16 富山	4	4	100.00%	3	0	3	1	0	0.00%	0	0
17 石川	10	10	100.00%	10	0	10	0	0	0.00%	0	0
18 福井	3	3	100.00%	2	1	3	0	0	0.00%	0	0
19 山梨	5	5	100.00%	5	0	5	0	0	0.00%	0	0
20 長野	23	22	95.65%	21	0	21	1	1	4.35%	1	0
21 岐阜	10	5	50.00%	3	0	3	2	5	50.00%	5	0
22 静岡	38	36	94.74%	31	3	34	2	2	5.26%	2	0
23 愛知	28	28	100.00%	26	1	27	1	0	0.00%	0	0
24 三重	8	7	87.50%	5	2	7	0	1	12.50%	0	1
25 滋賀	6	6	100.00%	6	0	6	0	0	0.00%	0	0
26 京都	25	23	92.00%	23	0	23	0	2	8.00%	2	0
27 大阪	190	167	87.89%	156	4	160	7	23	12.11%	18	5
28 兵庫	87	54	62.07%	45	7	52	2	33	37.93%	32	1
29 奈良	12	11	91.67%	7	4	11	0	1	8.33%	1	0
30 和歌山	9	9	100.00%	5	4	9	0	0	0.00%	0	0
31 鳥取	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
32 島根	8	8	100.00%	8	0	8	0	0	0.00%	0	0
33 岡山	8	8	100.00%	6	2	8	0	0	0.00%	0	0
34 広島	13	10	76.92%	10	0	10	0	3	23.08%	2	1
35 山口	5	5	100.00%	3	0	3	2	0	0.00%	0	0
36 徳島	8	8	100.00%	8	0	8	0	0	0.00%	0	0
37 香川	5	5	100.00%	5	0	5	0	0	0.00%	0	0
38 愛媛	11	11	100.00%	11	0	11	0	0	0.00%	0	0
39 高知	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	1	0
40 福岡	41	34	82.93%	27	4	31	3	7	17.07%	7	0
41 佐賀	6	6	100.00%	6	0	6	0	0	0.00%	0	0
42 長崎	5	5	100.00%	5	0	5	0	0	0.00%	0	0
43 熊本	18	15	83.33%	14	1	15	0	3	16.67%	2	1
44 大分	8	8	100.00%	8	0	8	0	0	0.00%	0	0
45 宮崎	6	5	83.33%	5	0	5	0	1	16.67%	1	0
46 鹿児島	3	3	100.00%	3	0	3	0	0	0.00%	0	0
47 沖縄	2	1	50.00%	1	0	1	0	1	50.00%	0	1
全国	1,379	1,131	82.02%	955	99	1,054	77	248	17.98%	231	17